

# 会 議 録

日 時	令和6年2月21日(水) 14:00~16:30									
場 所	総合文化センター 視聴覚室									
件 名	令和5年度 第7回社会教育委員会(定例会)									
出席者	社会教育委員:小栗正敏、加藤一哉、渡邊啓介、松浦大哲、岩島留美子、安藤裕子、有賀秀雄、 湯原定雄、伊藤孝一、浅沼克郎、有賀雅美 事務局:奥谷ひとみ(社会教育課長)、小栗茂(中央公民館長)、 藤井志保(社会教育課課長補佐)、川畑篤仁(同主査)									
議 題	<p><b>1 挨拶</b></p> <p><b>2 提言書の最終確認</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <th style="text-align: center;">修 正 箇 所</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">I 研究テーマを設定した理由</th> </tr> <tr> <td>・特になし</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">II 調査について</th> </tr> <tr> <td>・特になし</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">III 調査結果</th> </tr> <tr> <td>           ・「地区公民館がある稲津、陶、日吉、釜戸、大湫が校区の学校は、…」を、            「地区公民館がある稲津・陶・日吉・釜戸・大湫校区の学校は、…」に変更。            ・「地区公民館がない瑞浪、土岐、明世が校区の学校は、…」を            「地区公民館がない瑞浪・土岐・明世校区の学校は、…」に変更。            ・地域住民の意見や思いの協議会への反映のさせ方について            「どの学校にも地域住民の意見や思いを聞き入れる窓口が存在しない。」を、            「地域住民の意見や思いを聞き入れる窓口は明確になっていない。」に変更。         </td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">IV 提言</th> </tr> <tr> <td>           ・「Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) を繰り返すことで、            活動の改善を図る方法 (以下、「PDCA サイクル」という。) …」を、            「Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善) を繰り返すことで、            活動の改善を図る方法…」に変更。         </td> </tr> </table> <p>(その他意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当委員会で作り上げた提言書を教育長へお出しするということであるが、広報などでも広く周知していけるとよい。</li> </ul> <p>(事務局) 提言書は各学校運営協議会メンバーと各校の地域学校協働活動推進員に配付して周知を図る。また市ホームページでも掲載する予定である。</p> <p><b>3 各種社会教育団体の活動報告等 (事務局から)</b></p>	修 正 箇 所	I 研究テーマを設定した理由	・特になし	II 調査について	・特になし	III 調査結果	・「地区公民館がある稲津、陶、日吉、釜戸、大湫が校区の学校は、…」を、 「地区公民館がある稲津・陶・日吉・釜戸・大湫校区の学校は、…」に変更。 ・「地区公民館がない瑞浪、土岐、明世が校区の学校は、…」を 「地区公民館がない瑞浪・土岐・明世校区の学校は、…」に変更。 ・地域住民の意見や思いの協議会への反映のさせ方について 「どの学校にも地域住民の意見や思いを聞き入れる窓口が存在しない。」を、 「地域住民の意見や思いを聞き入れる窓口は明確になっていない。」に変更。	IV 提言	・「Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) を繰り返すことで、 活動の改善を図る方法 (以下、「PDCA サイクル」という。) …」を、 「Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善) を繰り返すことで、 活動の改善を図る方法…」に変更。
修 正 箇 所										
I 研究テーマを設定した理由										
・特になし										
II 調査について										
・特になし										
III 調査結果										
・「地区公民館がある稲津、陶、日吉、釜戸、大湫が校区の学校は、…」を、 「地区公民館がある稲津・陶・日吉・釜戸・大湫校区の学校は、…」に変更。 ・「地区公民館がない瑞浪、土岐、明世が校区の学校は、…」を 「地区公民館がない瑞浪・土岐・明世校区の学校は、…」に変更。 ・地域住民の意見や思いの協議会への反映のさせ方について 「どの学校にも地域住民の意見や思いを聞き入れる窓口が存在しない。」を、 「地域住民の意見や思いを聞き入れる窓口は明確になっていない。」に変更。										
IV 提言										
・「Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) を繰り返すことで、 活動の改善を図る方法 (以下、「PDCA サイクル」という。) …」を、 「Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善) を繰り返すことで、 活動の改善を図る方法…」に変更。										

・瑞浪市子ども会連合会

(意見) 役員が単年度で変わってってしまうので、単に行事に参加して楽しかった、というように終わってってしまうという面もある。だからといって子ども会活動は意味がないということではない。

(意見) 役員になった保護者が一生懸命行事をこなしていく中で、子供の力をつける、ということまでは目がいかないかもしれない。子ども会と学校とが子供の目指す姿をすり合わせた上で、コミュニティ・スクールの中に活動を組み込んでいけないか、と思う。

(意見) 役員になった保護者も指導者としての研修を受ける機会があるとよい。

・瑞浪市文化協会

(意見) 文化協会祭について出演団体が4年前と比べて半減してしまった。市の文化活動はやっと復活の途に入ったという状況。

(意見) こじんまりでも文化協会祭のように発表の場があることで、頑張っ活動している方の張り合いもできる。これから盛り返して欲しい。

(意見) あるスポーツ団体に所属しているが長いこと新しいメンバーが入ってこない。以前はメンバーの知り合い同士で誘い合っ人数が増えていたが、つながりが希薄になっている時代、積極的に呼びかけ合うことが必要。

・瑞浪市民図書館

(特に意見なし)

・その他(公民館について)

(意見) 中央公民館について、地区公民館的な活動を行っているか。

(事務局) 中央公民館文化祭にて、瑞浪土岐明世地区のまちづくり協議会や各幼稚園の協力を得て、展示を催している。また中部寿大学として瑞浪土岐明世地区の方を受け入れて通年活動している。

#### 4 各会議等より報告

・社会教育振興協議会(有賀代表)

来年度協議会発表の当番市となっている。コロナ禍でこのところ参集型でなかったので来年度は参集しての形になるかと思う。

・青少年育成市民会議(渡邊委員)

広報部会員として参加した。年に2回の広報紙発行に携わった。校正会議が各1回ということで会議時間の制約もあるので、来年度は原稿を事務局から事前送付してもらい、校正時間をとれるようにする予定である。コロナ禍が明けて各事業が復活して行われた。

・美術展運営懇談会(松浦委員)

懇談会と審査会に参加した。全体的に出品数が減少している。初めて審査をしたが難しさを感じた。

・図書館協議会(岩島委員)

各委員の活動交流や、図書館の活動計画について意見交換し、駅北複合施設について討議した。個人的に図書館から足が遠のいてしまっ、読みたい本があっても文字が小さいと結局疲れてしまっ読めないというときもある。高齢者が今後も増えていっより活字離れが進んで、なかなか対策が思いつかない。人気の図書をもっ大きく展示してもらっような方策を提案していきたい。

高校が3校立地する土地なので生徒児童が探求のために足を運ぶような施設になってほしい。各学校と積極的に連携できるとよい。

(意見) 図書館は毎月広報でいろいろな企画を周知していて、以前「これまで一度も借りられていない本特集」を見に行っている本の貸出者第1号になったことを思い出した。ただ図書館としては周知しているつもりでも受け手が意識して目に入れないと周知は難しいと感じている。

・教育委員会点検評価委員会（浅沼委員）

教育委員会の実施事業について A～C の3段階で評価した。どの事業についてもおおむね工夫して実施していると評価した。小学校の英語教育で先生方が苦勞しているという声があった。学力の付け方について関心が高かった。

・人権施策推進ネットワーク（安藤裕委員）

男女共同参画の講演会に参加した。アンコンシャスバイアスについてのテーマであった。質疑応答の際に2人ほど若い男性の方が育休を取得したことについて話をされていたのが印象的だった。今の時代の方はジェンダーより世代間格差の方が課題かもしれないと思った。

「ちょっといい話」が市から発行された。瑞浪市だけが市事業としてずっと継続して発行しているそうである。いい話がないかな、と思って日常を過ごせることがよかった。みなさんもぜひご寄稿いただきたい。

## 5 事務局より

### (1) 次期研究テーマについて（構想）

(意見) 来年度市が組織再編を予定しているということで、教育委員会も大きく変わるということについて、地域には事後報告のような形になっていて腑に落ちないところがある。社会教育について市は何を目指すのか議論はなされたのか。市は学校教育だけやっていけばよいのか。駅北複合施設の提言の際も、総合文化センターの移転ありきで議論して我々が後押しした形になってしまったのではないかと今さら感じている。もっと根本的なことを議論したいという思いもある。

(事務局) 法律に基づき社会教育委員は教育長が委嘱することになっているので、今後も教育委員会に意見を述べていく活動をしていくことになる。

(意見) 社会教育委員会の活動をよりアピールして、社会教育委員は市や地域にとって必要なものだということを広めていかなければいけない。また組織再編について、新年度に経緯を説明してほしいと思う。その上で研究テーマについて議論すべき。

(事務局) 社会教育委員が各学校運営協議会メンバーとして参加して活躍していることは、他市町村と比べて先進的なこと。次年度も継続して委員会を実施していく。

### (2) 次年度の充て職について（案）

(事務局) 新年度の第1回委員会で協議・決定する。

### (3) 次年度の年間計画について（案） 資料のとおり

## 6 今後の予定

- ・教育長への報告（3/5（火） 代表と副代表から報告）
- ・各学校運営協議会会員への配付

## 7 閉会の言葉

